



※ R7は補正後予算、R8は当初予算

地下鉄事業は、建設に巨額の投資を必要とし、支払利息や減価償却費の資本費負担が大きいことから、長期的に収支の均衡を図っていく事業です。平成23年度に黒字化して以降、黒字基調で推移する中、新型コロナウイルス感染症の影響による損益の落ち込みはありましたが、令和8年度は、単年度損益が63億円の黒字となり、累積欠損金は765億円に縮減する見込みです。